

金属亀裂

修復キットを販売

ロックンステイツジャパン

購入業者自ら作業可能に

機械や船舶の金属に生じた亀裂を特殊ねじで修復する事業を展開している「ロックンステイツジャパン」(LNS・新潟市、池田信義代表)は、修理業者向けに修復キットの販売を始める。キットは、さまざまな亀裂に対応できる十三種類の特殊ねじねじをセットにしたもの。同社はエンシニア

の派遣をせずに、キット購入業者自らの作業で修復を可能にする狙い。事業の効率性と拡大を目指す。同社は特殊技術を開発した米国LNSとライセンス契約を結び、同社製のねじ類を輸入し、事業を展開。溶接と異なる、金属を熱で傷めるこ

とがないといった特長から、発電所や造船会社などからの受注が伸びている。一方、エンシニアを派遣し修復作業に当たってきた従来方法では、手間やコストが掛かり、事業拡大の障害になっていたため、キット販売に踏み切った。キットは、径や長さ、溝の形状が異なるねじを

十三種類と、亀裂が広がるのを防ぐ備品などをセットにした。価格は七十五万円。キットを購入した業者には、LNSによる研修を受けられる。研修は実費負担。ただ、作業によってはLNSのエンジニア一人が監督することもあるほか、難しい作業や大型のケースでは従来通りLNSのエンジニアが作業を行う。二十一年十二月三日に東京で開かれる「第十回機械要素技術展」でキットを発表し、事業を始める予定。